

<b>タイトル</b>	<b>思い込みってなに？</b>		
<b>ワークの目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 思い込み（ステレオタイプ）が何かを知る。自分や他人に思い込みがあることを知る。</li> </ul>		
<b>背景</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世の中の膨大な情報を効率的に処理するために私たちは思い込み（ステレオタイプ）を持ちます。</li> <li>● ただ、複雑な現代社会で、思い込みを持って行動してしまうと、差別や排他に繋がってしまったり、グループの中に存在する多様性に気づけなくなってしまうたりします。</li> <li>● そのため、このワークではまず「じっくり観察する」ことを通して、自分の世界の見え方にフィルターがかかっていることを知ることが目的です。</li> </ul>		
<b>留意点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● このワークでは2つの実施内容を用意しています。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 思っている石やものの特徴と実際との差から、自身の思い込みを知るワーク（P1-P4）</li> <li>2. 様々な立場で石やものを評価し、立場による考えや思い込みを考えるワーク（P5-P8）</li> </ol> </li> <li>● 1はより深い思考、2はゲーム性を重視していますので児童の状況に合わせて活用下さい。</li> </ul>		
<b>対象学年</b>	小学校中学年・高学年	<b>所要時間</b>	<b>40～60分</b>
<b>準備</b>	（石が題材の場合）多様な形や色の石、ワークシート		
<b>実施内容 1(発展編)</b>		<b>支援の観点・留意点</b>	
<b>① 準備</b>			
<u>ワークの準備を行う</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 題材（石、野菜、果物、動物 等）を決める</li> <li>● 題材をワークのグループ数分準備する <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実際に拾ってくる、買ってくるなどして、目に見える触れる形で準備することが望ましい</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 例えば石を扱う場合でも、ガラス質、透明感がある、平べったいなど、特徴があるものを用意することをおすすめします</li> </ul>	

<b>② 導入</b>	
今日の題材に持っているイメージを引き出し、ワークシートに記録してもらおう	<b>留意点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今度、知り合いの小さい子に石（題材名）ってどんなものか説明しなきゃならなくなったんだけど、皆だったらちっちゃい子になって伝えるかな？ワークシートに書き込んでみよう！」</li> <li>● ワークシート（図1もしくは2）を使ってどういうイメージを持っているかを記載してもらおう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 導入は例なので、最初からワークを意識したものでもよいです <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「今日はものの見え方をみんなで考えよう。試しに、石について、みんなが持つイメージをワークシートに書いてみてね」</li> </ul> </li> </ul>
<b>③ ワーク1</b>	
題材の実物を観察してもらおう	<b>留意点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加者を1グループ2～4人に分け、各グループに新しくワークシート（図1もしくは2）を1枚ずつ配布し、1つ題材を渡す</li> <li>● グループごとに題材の特徴をワークシート（図1もしくは2）に記載していってもらおう <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「皆グループごとに今目の前にある石（題材名）を実際に観察してみてどんな特徴があるか、みんなで話し合いながらどんどんワークシートに書いていってみよう！」</li> <li>- 「石には名前もつけてね」</li> </ul> </li> <li>● 各グループの記載が終わったら、石（題材）を一度回収する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 題材を触るだけでなく、嗅いだりすることも促し、イメージとの違いを認識する観点を増やします</li> <li>● 灰色、軽い、丸い等の端的な説明ではなく、石の特徴の程度を具体的に書くよう指示してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「3種類の灰色が混ざっていて、黒い点々がある」</li> <li>- 「5円玉より軽いけど、1円玉より重い」</li> <li>- 「つるつるしている部分とざらざらしている部分がある」</li> <li>- 「私の手より冷たいけど、机の鉄の部分よりは暖かい」など。</li> </ul> </li> </ul>
<b>④ ワーク2</b>	
ワークシートをもとにイメージとの差を聞いていく	<b>留意点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「皆書けたようだね。じゃあここでそれぞれのグループの意見を聞いていきます。XXさんのグループはどの石を観察したのか」</li> <li>● 「実際の石を見てみると、イメージと違ったところはあったんじゃないかな。どうだったかな？」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イメージとの違いがなかったという場合は、なんで違わなかったのかなと聞いてもよいですし、別の石を見てもらうとどうだろうか、という振りしてもよいです</li> </ul>

## ⑤ 振り返り

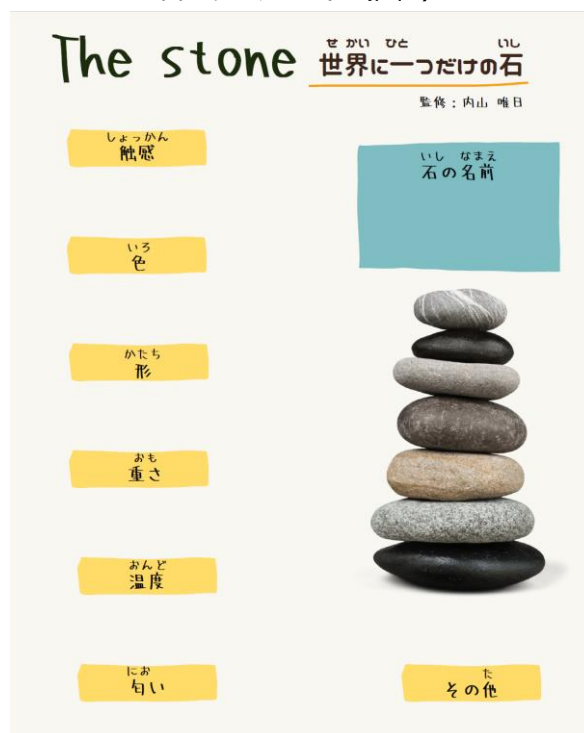
考えているだけでなく、実際に見る・触ることの大切さを伝える

- 「みんなで書いたワークシートを見くらべてみて！イメージと実際のは違ったかな？」
- 「似たような経験って学校とかでないかな？例えば、〇〇先生への最初のイメージって、話してみたらどうだったかな？怖いなって思ってた先生も実際仲良くなると優しくなったってこと、あるんじゃないかな」
- 「お友達と仲良くするときも同じじゃないかな？イメージだけで勝手に●●ちゃんはこう！って決めつけしないで、話したり遊んだり、相手のことを知るようにしていこうね」

留意点

- 実生活にも同じような状況があることを児童に伝えていきましょう。
- 先生を例に出すといった形も有効です

石のワークシート（図1）



## 石以外の時に使うワークシート（図2）

せかい ひと  
**世界に一つだけの**  
監修：内山 唯日

しゅっかん  
触感

いろ  
色

かたち  
形

おも  
重さ

おんど  
温度

にお  
匂い

なまえ  
の  
名前

と  
その他

対象学年	小学校中学年・高学年	所要時間	40～60分
準備	題材、ワークシート、キャラ設定シート、順番シート		
実施内容 2	支援の観点・留意点		
① 準備			
ワークの準備を行う		留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 題材（石、野菜、果物、動物 等）を決める</li> <li>● 題材を複数（5～6個）準備する <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 可能であれば、実際に拾ってくる、買ってくるなどして、目に見える触れる形で準備してあげるのが望ましい</li> <li>－ 準備するのが難しい場合は、題材例シート（図4）のそれぞれの題材部分を印刷することで代用可能</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石以外の設定については題材例シートを参照してください。</li> </ul>	
② 導入			
ワークの概要を説明する		留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今日は思い込みについてみんなで学んでいきます」</li> <li>● 「思い込みって、なにかに対して抱くイメージの中でも、“これはきっとこうに違いない”と決めつけるものことだけど、先生含め、と自分になんで思い込みがあるのか、とかなんで他の人が思い込みで物事を考えてしまうのかとかは、意外とわからないものです」</li> <li>● 「なので、今日はちょっとしたワークを行うので、実際に体験して学んでみましょう」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な思い込みの例を用いて、自然な流れでワークに導入できるとなお良いです。</li> </ul>	
③ ワーク			
ワークシートを使い、与えた題材のランキング付けを行ってもらう		留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加者を1グループ2～4人に分け、各グループにワークシートを1枚ずつ配布し、キャラ設定シートよりグループに1つキャラ設定を割り振る</li> <li>● 石を各グループに回してみてもらいつつ、キャラ設定シートに記載されているキャラになりきって“その人だったらどの石を欲しがりそうか”、ランキング付けしてもらう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用意した題材をすべてのグループが見られるよう、先生側が題材を回していきます</li> <li>● 必要に応じ、児童のワークをサポートする質問をしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「このキャラの人は何が好きなかな？」</li> </ul> </li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ここからは自分が与えられたキャラになり切って、その人だったらどれを欲しがりそうか、ランキングを考えてみよう！」</li> <li>- 「他のチームにはキャラは秘密にして、ワークシートも見せないようにしましょう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「この石を見てどう思いそうかな」など</li> </ul>
<h4>④ ワーク2</h4>	
<p><u>ワークシートを使い、どういうキャラかを当てるゲームを行う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ワーク1で各グループが記載したワークシートを回収する</li> <li>● 各グループのワークシートを見せ、キャラを当ててもらおう <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「これからゲームをします。各グループのランキングを見せるので、どんな人なのか、当ててみましょう」</li> <li>- 「1位はXX,2位はXX、3位はXXだそうです。分かった人から手を挙げてみて！」</li> <li>- 「XXという答えが出たけど、合ってる？（見せているグループの児童に聞く）」</li> </ul> </li> </ul> <p>答えが出なかった場合は、ワークシートを書いたグループに答えを発表してもらいます</p>	<p><u>留意点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童がゲーム感覚で楽しめるような工夫を含めるとより盛り上がります。</li> <li>● 子供たちがゲームに没入できるように呼び掛けてあげてください</li> </ul>
<h4>⑤ 振り返り</h4>	
<p><u>それぞれの立場での考えや思い込みについて振り返る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今回はいろいろな立場からランキングしてもらったけど、経験していることも、大事にしていることも違うから、立場によってももの見え方が違ってくることが分かったんじゃないかな」</li> <li>● 「今回みたいに同じ石を見ても、見え方が違うし、“石ってこれだ！”と想像する石もきっと違うよね」</li> <li>● 「だから、それぞれの立場で“これはこうに違いない”って思い込みはあると思うけど、しっかり実際のをみることが大事だし、色々な見方をすることで新しい良さがみえてくるんじゃないかな」</li> <li>● 「これって友達や先生にも言えることだね。イメージだけで勝手に●●ちゃんはこう！って決めるより、実際に会って、いろいろなことを聞くと、きっと発見があるし、仲良くできるんじゃないかな。これからも意識していこうね」</li> </ul>	<p><u>留意点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実生活にも同じような状況があることを児童に伝えていきましょう。</li> <li>● “今気づいた”という話することで、児童の理解も追いつきやすくなります。</li> </ul>

キャラ設定シート (図3)

テーマ		キャラクター					
石	役割	地質学者	宝石職人	金魚を飼う人	石器時代の人	水切りチャンプ	アクセサリー好き
	価値観	独特さや学術的な価値が大事	きれいに加工できるかが大事	金魚や水そうにあうかが大事	生活・狩りに使えるかが大事	どれだけ遠くに水切りできるかが大事	どれだけきれいか、珍しいかが大事
野菜	役割	シェフ	農家さん	八百屋さん	暑い地域の人	体調の悪い人	兔を飼う人
	価値観	おいしさやレストランで目立つかが大事	たくさん作れたり、高く売れることが大事	お客さんによく売れるのが大事	水分がたくさんふくまれていることが大事	体に優しいことが大事	ウサギのえさになるかが大事
果物	役割	ケーキ屋さん	農家さん	ジュース屋	お見舞い行く人	モデル	ダイエットの人
	価値観	ケーキに使えたり見た目がきれいなことが大事	たくさん作れたり、高く売れることが大事	ジュースにしやすいことが大事	栄養が高かったり、消化が良いことが大事	美容にきくかどうか大事	カロリーが低いことが大事
素材	役割	暖まりたい人	服職人	食器職人	靴職人	綺麗なものの好き	建築家
	価値観	燃やしやすく、燃え続けるのが大事	服にできたり、肌触りがよいものが大事	形をつくりやすいのが大事	靴の作りやすさが大事	見た目が綺麗かどうか大事	建物を作るのに必要かが大事
動物	役割	猟師	畜産農家	戦国武将	革職人	チーズ好き	スポーツ選手
	価値観	沢山肉が取れるか、狩りを手伝えることが大事	育てやすさと高く売れるかが大事	人を倒せたり早く移動できることが大事	革がたくさん取れる、とりにやすいのが大事	お乳が取れることが大事	たんぱく質が多いかが大事

提供・作成：#たしかに、内山唯日

題材例シート (図4)

テーマ	題材の例					
石						
野菜						
果物						
素材	 鉄	 粘土	 革	 ガラス	 木	 綿
動物						

提供・作成：#たしかに、内山唯日

順番シート (図5)

ほしいもの順番シート

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

提供・作成：#たしかに、内山唯日